

# 令和5年度 第2回目嗜好調査

## 1.目的

患者様の嗜好に合った満足度の高い病院食が提供できているかを調査する。  
また、退院後に食事療法をするうえで治療食が参考になるか調査する。

## 2.調査日時

令和5年7月19日(水)～7月21日(金)

## 3.調査対象者

特別食（糖尿病食や心臓病食、腎臓病食等の治療食）を提供している患者様

## 4.調査方法

アンケート用紙（自記式）を配膳トレーに添えて配布する。記載終了後の用紙はそのままトレーに戻して頂き、喫食後の食器と下膳車に入れて頂く。アンケートへの記入が難しい場合は、栄養士による聞きとり調査を行う。尚、未回収分は栄養士が病室に伺い、回収する。

## 5.アンケート回収率

アンケート回収率73%(58名)、有効回答率76%(44名)

## 6.結果

### (1) 対象者の属性

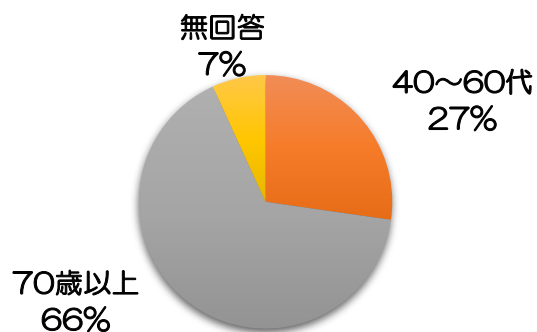


図1-1.対象者の年齢構成 (n=44)

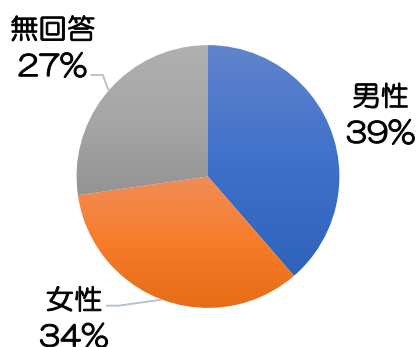


図1-2.対象者の性別 (n=44)

### (2) 主食の炊き方について

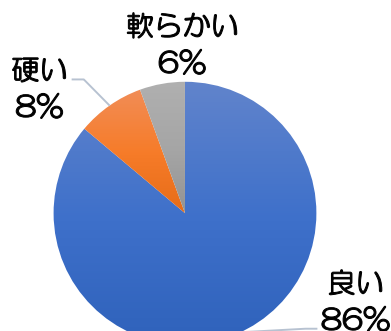


図2-1.ご飯の炊き方 (n=36)

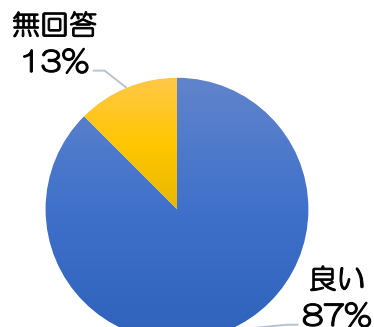


図2-2.粥の炊き方 (n=8)

### (3) 副食について

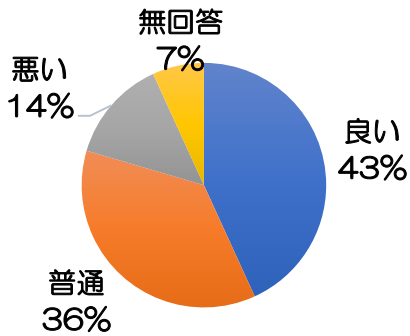


図3-1.おかずの味付け (n=44)

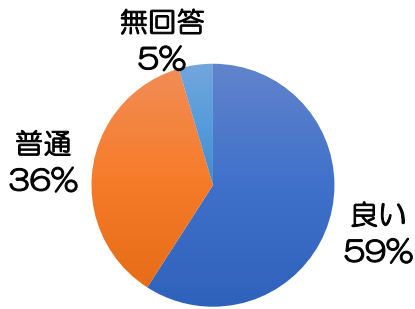


図3-2.おかずの彩り (n=44)

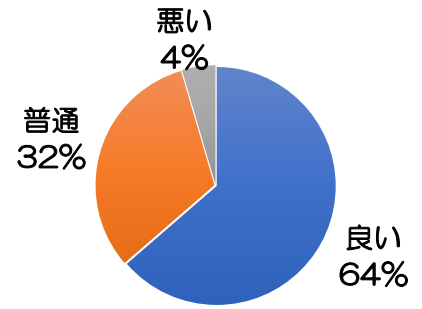


図3-3.おかずの盛付 (n=44)

### (4) 食事全体の満足度

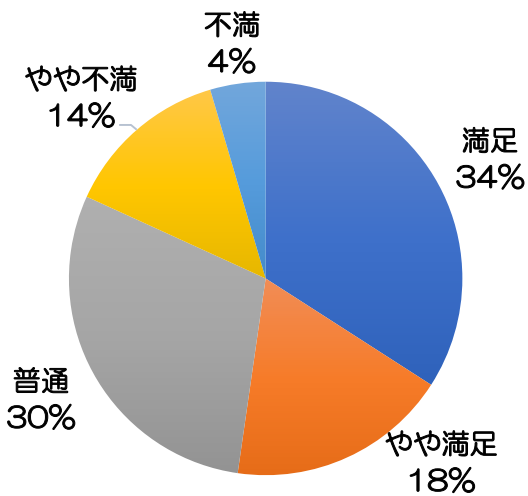


図4.食事全体の満足度 (n=44)

#### ○ご意見・ご要望

- ・ バランス良くカロリーがあり、いつも楽しみに待っています
- ・ 減塩に気を遣っているから
- ・ 減塩6gでお願いしていますが十分味があり、しかも美味しいです
- ・ 大変満足しております
- ・ 味が薄い
- ・ 野菜の繊維が残る
- ・ 口に合わない
- ・ 普段、自分の好みで作っているので物足りない
- ・ すこし量が多すぎるため、量を減らしてほしい

### (5) 治療食に関する事項に関して

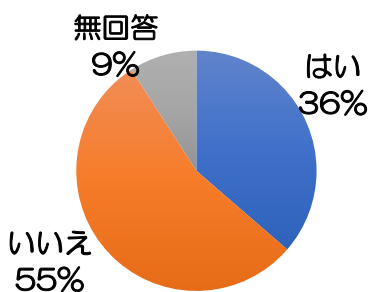


図5-1.過去に栄養指導を受けたことがあるか (n=44)

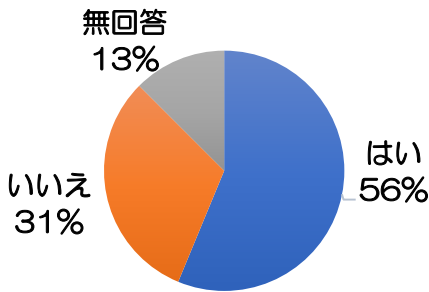


図5-2.栄養指導で聞いた話を実践していますか (対象者のみ,n=16)

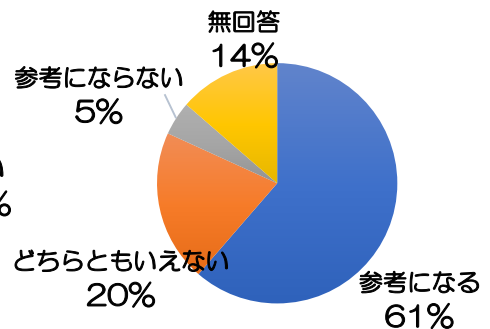


図5-3.退院後に食事療法を行うために病院の食事は参考になるか (n=44)

#### ○栄養指導で聞いた話の実践について (自由記述)

- ・ 60%実践している
- ・ 減塩と水分の摂りすぎに気をつける
- ・ 自分でも努力しようと勉強になる
- ・ 時間がないからしていない
- ・ 難しい

#### ○病院の食事は参考になるか (自由記述)

- ・ 減塩食、大変勉強になります
- ・ 今まで塩分を摂りすぎていたと思う、控える
- ・ 家庭でもこの量と味付けを維持できるように
- ・ 日常的には難しい
- ・ 家との調理法が違うから難しい
- ・ 家庭では別メニューになる

## 7.考察・今後の取り組み

主食の炊き方について、ご飯、粥どちらも80%以上の方が「良い」と回答した。このことから、おおむね患者様に適した主食が提供できていると考えられる。

副食については、彩りや盛付などの見た目に関する項目で約90%以上の方が「良い」・「普通」と回答した。その一方で、味付けに関しては79%の方が「良い」・「普通」と回答し、14%の方が「悪い」と回答した。

食事全体の満足度に関しては、約80%の方が「満足」・「やや満足」・「普通」と回答した。塩分制限がある中でも十分に味があり美味しかったなどの意見もあり、食事が治療の一環であることを理解したうえで、病院食を評価頂けていると考える。

しかし、味が薄いなどといった意見も散見されることから、治療食喫食患者には栄養指導にて治療食の必要性を理解していただくことが重要と思われるが、指導経験有の割合は40%未満と低かった。積極的に栄養指導を実施し、治療食について理解していただくことで満足度の向上につながるのではないかと考える。また、退院後にご家庭で食事療法を継続していただくためにも、具体的でわかりやすい栄養指導を実践していくように心がけたい。